

額田の民話

小太郎岩



ポイント POINT

むかし、檜山の里に、市川小太郎という、それはそれはたいそうな力持ちがいました。ある時、美合村の太郎作という力自慢の男が、小太郎の前に現れ、くるみの実を指先にはさんでかたっぱしからつぶしてみせました。小太郎も、負けてはいません。さっそく、竹やぶから竹をとってきて、太い竹を指でささらのように入れてしまいました。(ぬかたの民話1につづきがあります。ぜひ、読んでみてください)



小太郎が、山からたたみ1枚ほどもある大きな岩を背負って帰り、村の通りにある小川の橋にしたそうです。村の人々は、橋ができて、たいそう喜んだのと同時に、小太郎の大力にひどく驚いたそうです。上の写真は、今も道路わきに立てられている「小太郎岩」です。厚さは、35cmくらいあります。こんな大岩を担いできたなんて、信じられない怪力ですね。皆さんも、実際に見に行ってください。岩の大きさに、びっくりしますよ！